

笑顔かがやく

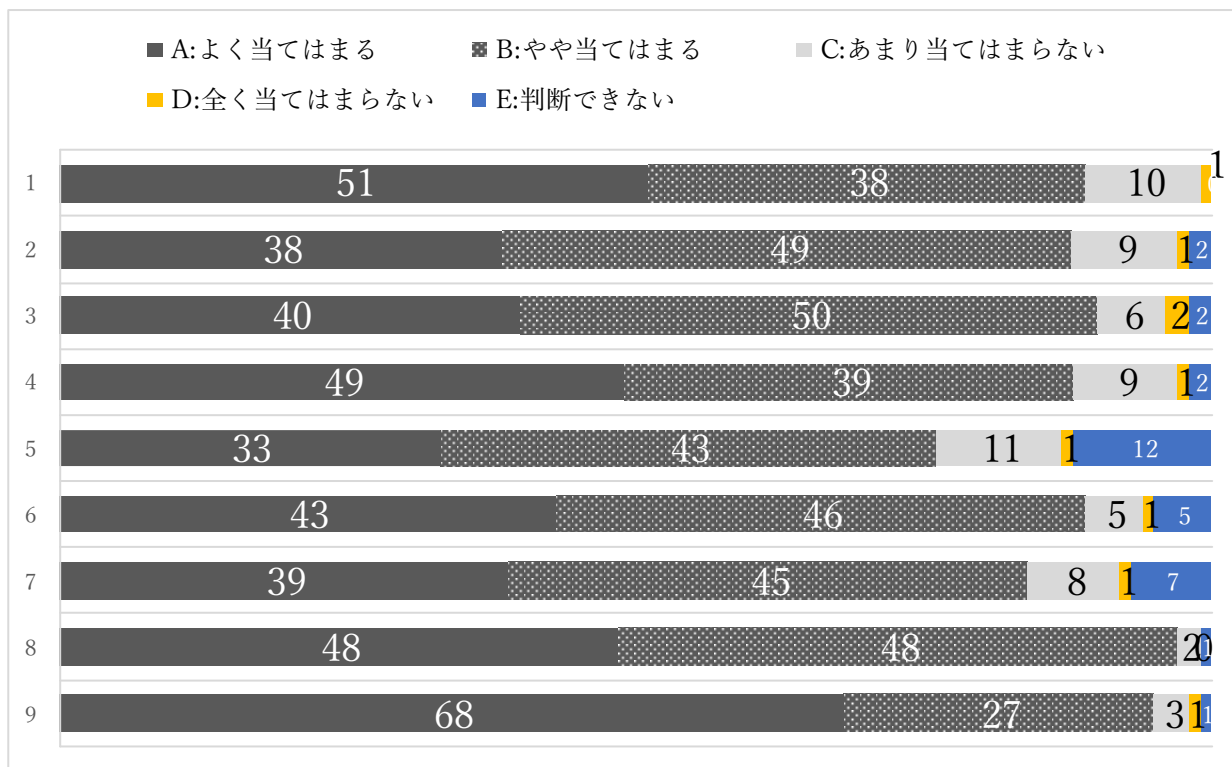
芦屋市立山手小学校長 井岡 祥一

令和6年度学校評価保護者アンケート集計結果

令和6年12月18日付で配布した保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございました。ご回答いただきましたアンケートは287になり、回収率は47.2%でした。お忙しい中、ご回答ありがとうございました。

No.	項目
1	学校は、子どもにとって楽しみなところである
2	学校は、子どもにとって楽しく分かりやすい授業になるように努めている
3	学校は、子どもの間違っただ行動を適切に指導している
4	学校は、子どもたちの良い点を見つけて指導している
5	学校は、「いじめのない学校づくり」に努めている
6	学校は、命を大切にする心や思いやりの心を指導している
7	学校は、たがいに人権を認め合える指導をしている
8	家庭では、子どもの挨拶やマナー、間違っただ行動について適切に指導している
9	家庭では、子どもとの触れ合いや会話する時間を持っている
10	お気づきの点があれば、お書きください

今回の保護者アンケートの集計結果は、次の通りです。(数字は%)



◆来年度へ向けて（アンケート結果を受けて）

◆A（よく当てはまる）B（やや当てはまる）の合計の割合が90%以上の結果となったのは、9項目中3項目でした。その中の2項目は家庭に関する内容です。これからも、引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。残りの1項目は、③の「学校は、子どもの間違った行動を適切に指導している 90%」でした。この結果から反省する点としては、間違った行動を指摘するだけでなく、「どうして今の行動をしたのか」「どう行動することがよいことか」「自分の行動が相手にとって良いことかどうか」を「きく（聴く・訊く）」ことをするうえで、児童自らが考え、判断するように教師が導くことが大切だと考えます。その実践を継続することが、他の項目へもよい影響を与えるのではないかと考えます。今年度から学校教育目標「自ら考え 判断し 創造する子の育成」に変更しました。この教育目標は先に記述した内容と重なると考えます。様々な教育活動において、「相手意識」をしっかり持ち、子どもたち同士、教師と子どもたちが互いに「相手のことを考える」心のあり方を大切に、「だれもが安心して生活できる居場所」としての山手小学校を創造するよう取り組んでまいります。

◆今年度は、項目⑤「いじめのない学校づくり」が80%を下回りました。この項目については、より意識を高め取り組みを進める必要があります。このことについても、「相手のことを考える」心のあり方（利他的思考）を基盤とし、未然防止、早期発見、早期対応に努め、お互いが「相手のためになる行動をしているかどうか」を常に考えた行動を意識して取り組み、「だれもが安心して生活できる居場所」にしてまいります。今後も、「相手のことを考える」をキーワードにしながら、ご家庭、学校、ともに同じベクトルで取り組んでまいりたいと思っています。

◆自由記述でいただいたご意見につきまして、良い評価をいただいた点についてはさらに伸ばしていき、厳しい評価をいただいた点については、私たち教職員が自らを振り返り、学校教育目標を常に意識し、学習指導・生活指導共に指導方法等を向上させ、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送れ、充実した教育活動が行えるよう今後の実践に繋げてまいります。

特に、本年度は、指導等についてご意見をいただきました。指導については、「指示する」から「考えさせる、気づかせる」に変え、「言われるからする」子どもから、「何をするのがよいかを考え・判断する」子どもに心を醸成するよう努めてまいります。そのためには、教職員の指導の判断基準を「利他的思考」にし、学校教育目標「自ら考え 判断し 創造する子の育成」を再度、共通理解し、教育活動に取り組んでまいります。また、学校・家庭・地域とも同じベクトルで子どもたちを育てていけるよう取り組んでまいりたいと思います。ご協力をお願いします。

◆この1年間山手小学校の教育活動に対し、多くのご理解ご支援をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

皆さまから頂いたご意見を謙虚に受け止め、来年度の教育活動に活かしていきます。ありがとうございました。